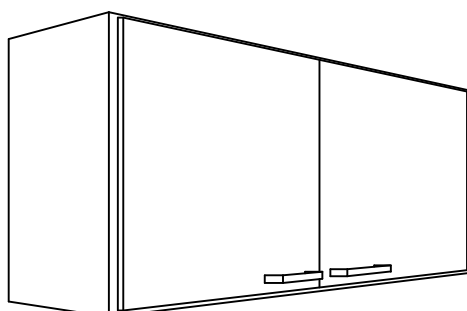


吊戸棚 設置説明書

もくじ

設置される方へ

1. 設置される方へのお願い..... 1
2. 設置前のご確認 2
3. 標準取付寸法・取付枠位置 ... 2
4. 設置手順 3
5. 点検・仕上げ 5
6. お願い事項 8



安全上のご注意 必ずお守りください

- ◆ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
- ◆安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- ◆表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡や重傷を負うことが想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

必ず実行 このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

禁止 このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

1. 設置される方へのお願い

この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。

警告

必ず実行 ●キャビネットの設置は、建築壁の構造を確かめて正しく取り付ける。 ●設置を誤ると使用中にキャビネットが落下して、大事故につながります。	
必ず実行 ●コンセント用電源は必ず100V・15A以上の専用回路を使ってください。 火災の原因になることがあります。	必ず実行 ●コンセントへの配線の接続は、確実に奥まで差し込んでください。 接続が不完全な場合は、接触不良やショートの原因になることがあります。
必ず実行 ●電気工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。 接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。	

設置後は、本説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない時は、わかりやすい位置に紛失せぬようにおさめておいてください。

2. 設置前のご確認

現場のチェック

吊戸の取り付け・設置にあたっては、建築の水平、垂直の精度、また設備設計図に基づいた給排水管、ガス配管、電気配線、キャビネット取付用下地等の位置と仕様が正しくできていないと安全な取り付け・設置ができません。事前現場確認の結果、不具合が生じた場合は、建築現場管理者に不具合箇所を説明し、修正・手直しの依頼をしてください。

⚠ 注意

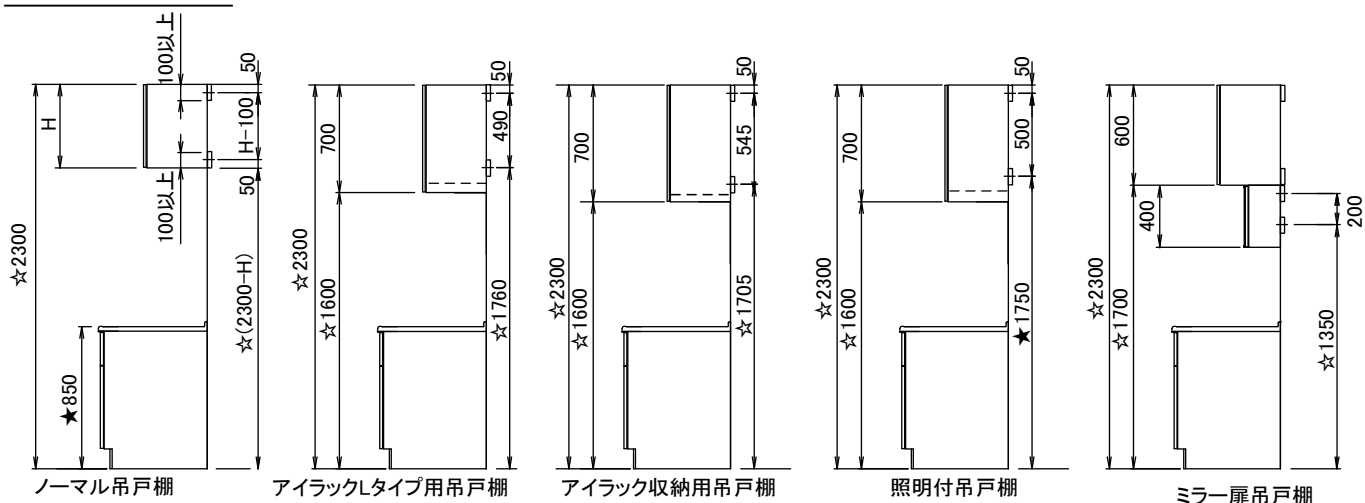
●設置途中で製品を仮置きする場合は、養生材を敷き、キズがつかないように十分注意する

●設置中、キャビネットや扉にドライバーや金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意する

●汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。
溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

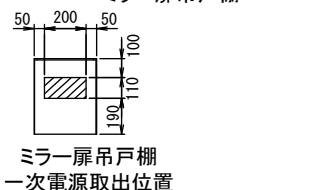
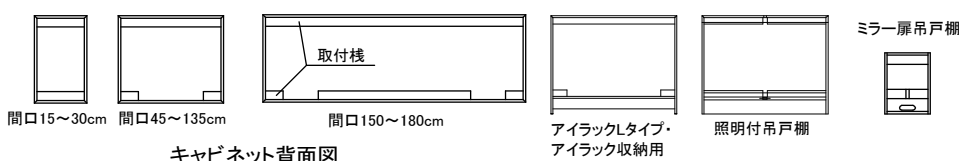
3. 標準取付寸法・取付枠位置

幅100mm以上
厚み12mm以上の合板



H(吊戸高さ)(mm):
900/700/645/600/500/400

図1



●電気配線位置を確認してください。

図中に記載している数値はキッチン天板標準高さの850mmの場合、吊戸・吊元高さ2300mmの場合です。

ご注意: ★印:天板高さに連動して変化する数値
☆印:吊戸・吊元高さにより変化する数値

⚠ 警告

●キャビネットの固定下地には、ネジ固定位置を中心に十分な強度を持つ厚み12mm・幅100mm以上の合板が貼られているか確認し、所定の付属ネジを使用して手順通り確実に行う。
●ネジ打ち部分に下地材が無かったり下地材の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが必ず実行 脱落して大事故につながります。

4. 設置手順

(1) 付属部品の確認

各キャビネットには、下記の付属部品が必要数同梱されていますので、設置前にご確認ください。

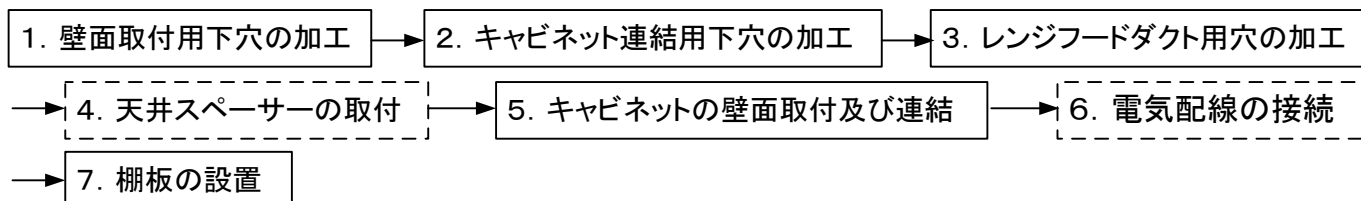
付属部品	寸法
壁面固定用トラスネジ	4.5x60
キャビネット連結用トラスネジ	3.5x27

(2) キャビネットの設置

下記の手順で設置してください。

※「レミュー」については、「レミュー設置マニュアル」を参照してください。

昇降式吊戸棚・冷蔵庫用吊戸棚については、それぞれの吊戸棚に同梱されている専用説明書を参照してください。



1. 壁面取付用下穴の加工

各機種において、所定の位置に壁面取付用の下穴(φ5穴)を加工してください。(図2)

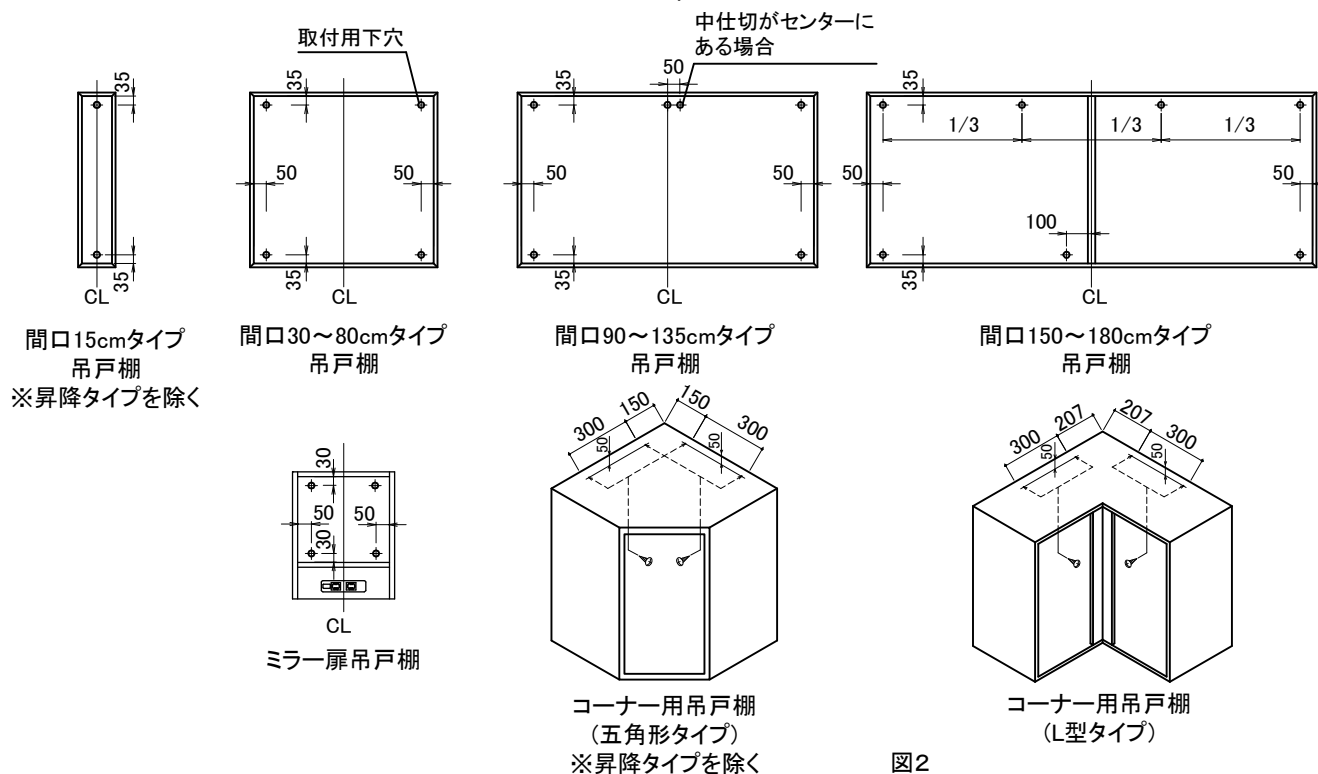


図2

2. キャビネット連結用下穴の加工

- ① 連結するキャビネット側板のどちらか一方に連結用下穴(φ4穴)を加工してください。(図3)
- ② 上下を連結する場合、下側キャビネット天板に連結用下穴(φ4穴)を加工してください。(図4)

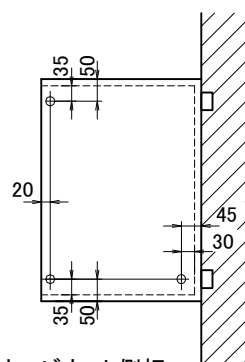


図3 キャビネット側板連結用下穴位置

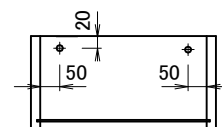


図4 キャビネット天板連結用下穴位置

3. レンジフードダクト用穴の加工

レンジフードのダクト穴の加工が必要な場合は、レンジフードに同梱されている設置説明書を参照して加工してください。



警告

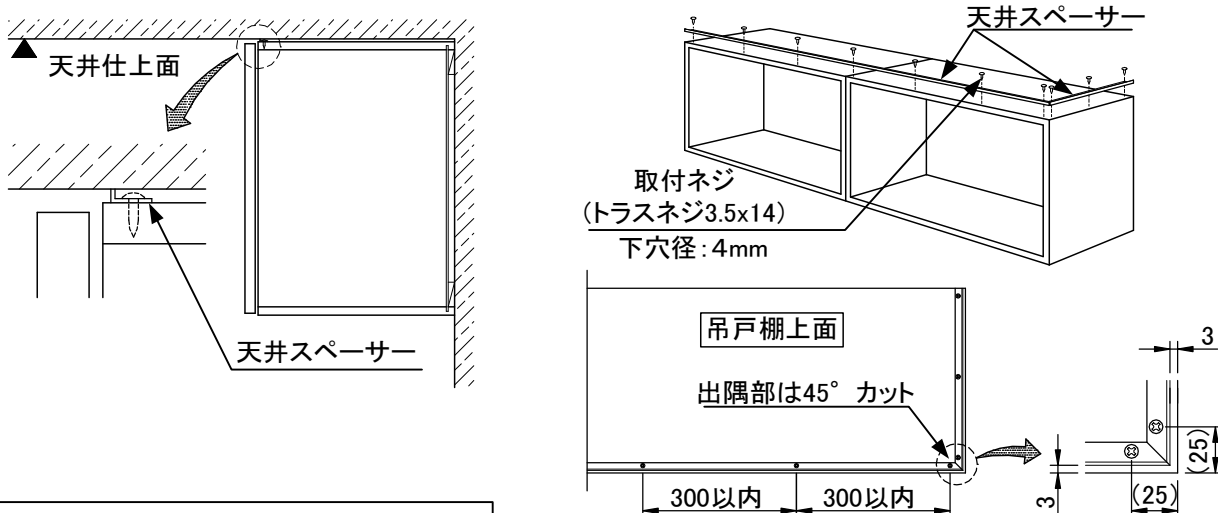


必ず実行

レンジフードおよび吊戸棚に付帯する電気製品については、それぞれの商品の設置説明書を必ずご覧いただき、正しい取付作業を行う取付を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

4. 天井スパーサーの取付（天井スパーサー選択時のみ）

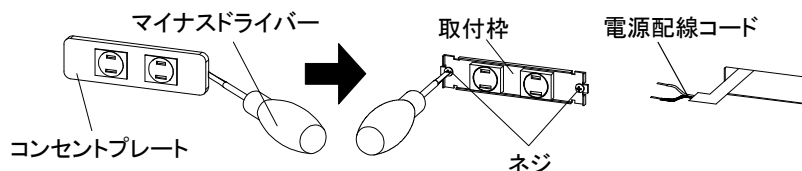
天井スパーサーは、吊戸棚を天井面に直付けする場合に取り付けるスパーサーです。下図を参考に吊戸棚の天面に同梱のネジで取り付けてください。



5. キャビネットの壁面取付及び連結

①直結配線の準備（ミラー扉吊戸棚タイプの場合）

内部のコンセントプレートはマイナスドライバーではずし、取付枠のネジをはずしてください。電源配線コードをコンセント取付枠の取出し部から引き込んでください。



ご注意：配線コードはゆっくり引き込んでください。強く引っ張るとキャビネットが壊れるおそれがあります。

②キャビネットに加工した壁面取付用下穴より、付属ネジ（トラスネジ4.5x60）で壁面に取り付けてください。

ご注意：1. 下地の木質檜にネジバカにならないようしっかり固定されていることを確認してください。

2. 不燃吊戸棚を取り付ける場合は、不燃側をレンジフード側に取り付けてください。

3. 不燃吊戸棚の下には、吊戸棚の底板との固定が必要な商品は設置できません。

（例）ミドルキャビネット、食器戸棚、システムラック、水切ラック、照明器具、照明カバー、スイッチボックス、吊り下げ式電子レンジ

③キャビネットを連結する場合は、キャビネットに加工した連結用下穴より隣接するキャビネット側板に付属ネジ（トラスネジ3.5x27）でスキがでないように連結してください。（図4）

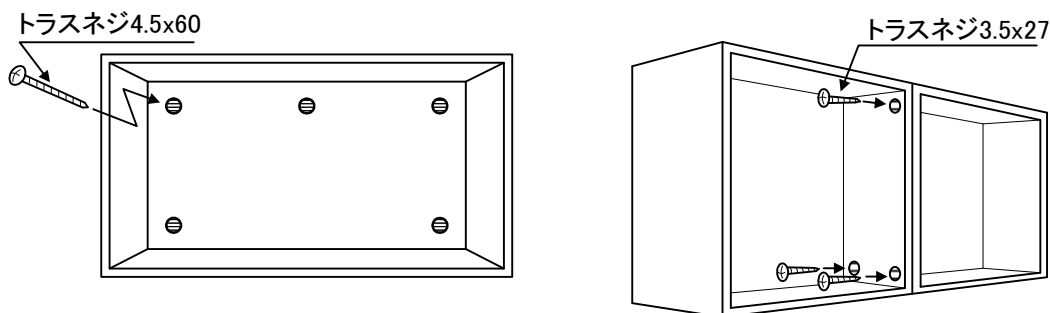


図4

6. 電気配線の接続(ミラー扉吊戸棚タイプの場合)

- ①1次電源のケーブルのシースと絶縁被膜をむいてください。
(図5-1参照)
- ②1次電源のケーブルをコンセントの裏側の挿入面に直角に奥まで確実に差し込みます。
(一度引っ張り、接続の確認をしてください。)(図5-2参照)
- ③「5. ①」の逆の手順にて取付枠・コンセントプレートを取り付けてください。

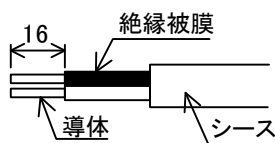


図5-1

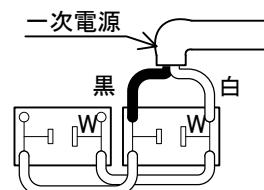


図5-2

7. 棚板の位置

棚板は、お好みの位置に移動可能です。



注意

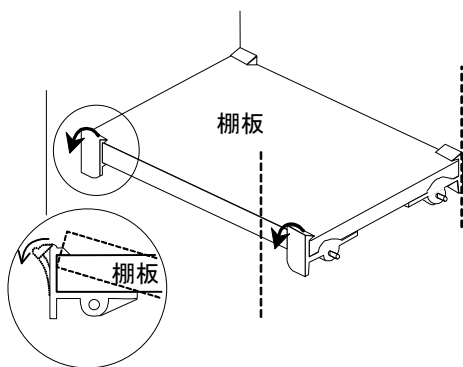


必ず実行

棚受けは正しい向きで、確実に奥まで差し込む
棚板が落下して、ケガをするおそれがあります。

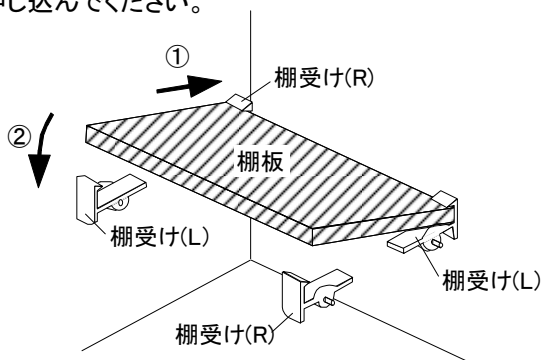
取りはずしかた

前側の棚受け上部に指をかけ、手前にはじいてください。



取り付けかた

- ①棚受けをしっかりと奥まで差し込む。
- ②奥の棚受けに棚板を差し込み、前の棚受けに上から押し込んでください。



5. 点検・仕上げ

◎安全確保の為、必ず実行をお願いします。



警告

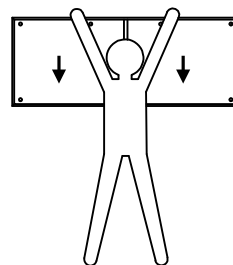


設置完了後は扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認する
必ず実行 扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。

●壁面へのネジ固定が確実にされているかどうか、下記2点の方法で確認してください。

①吊戸ぶら下がり確認

セット間口センター付近の吊戸天板(側板や中仕切のある近辺)にぶら下がり、ネジの抜けやガタツキが無い確認してください。



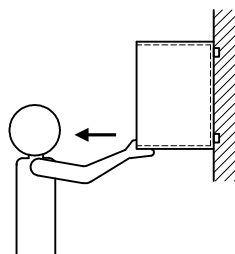
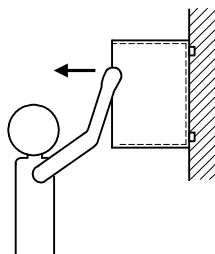
注意



脚立等に乗って点検する際は、足場に注意する
必ず実行 転倒や転落をして、ケガをするおそれがあります。

②吊戸引っ張り確認

吊戸上部を持って引っ張り、さらに底板を持って引っ張り、ネジの抜けやガタツキが無い確認してください。



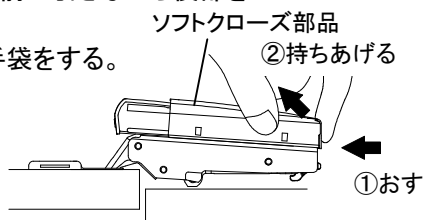
- 扉がガタツキや段違いが生じていないか確認してください。ある場合は、下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。 ※調整には＋ドライバーが必要です。

《スライド丁番を使用している製品》

ソフトクローズ部品付の場合

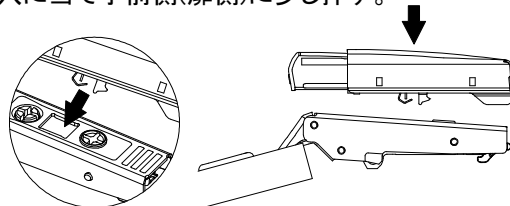
取りはずしかた

ソフトクローズ部品を手前に引きながら後部を上
に持ち上げる。
※作業時は必ず保護手袋をする。



取り付けかた

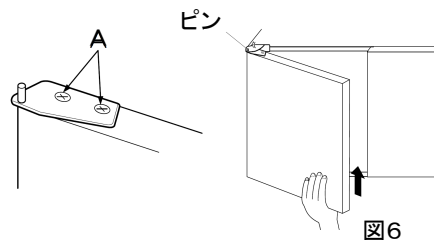
①ソフトクローズ部品下部の爪をヒンジの長方形の
穴に当て手前側(扉側)に少し押す。



扉の状態	調整のしかた	
ガタついている場合	丁番の固定ネジを＋ドライバーでしっかり締める。	
左右に傾いている場合 	①のネジの締め込み代で調整した後、 ②のネジを締める。	＜ソフトクローズ丁番の場合＞ 上の手順で部品を取りはずした後、 ①のネジをまわして左右を調整する。
前後に傾いている場合 	②のネジをゆるめて扉の前後位置を調整 した後、ゆるめたネジを締めなおす。	＜ソフトクローズ丁番の場合＞ 上の手順で部品を取りはずした後、 ②のネジをまわして前後調整する。
上下にずれている場合 	③のネジをゆるめて扉の上下位置を調整 した後、ゆるめたネジを締めなおす。	＜ソフトクローズ丁番の場合＞ 上の手順で部品を取りはずし、 ③のネジをゆるめて上下調整した後、 ゆるめたネジを締めなおす。

《ホーロー扉で軸丁番を使用している製品》

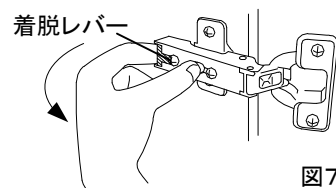
扉側丁番のAのネジをゆるめると扉の前後、左右の調整ができます。調整後、再度Aのネジを締め込んでください。(図6)



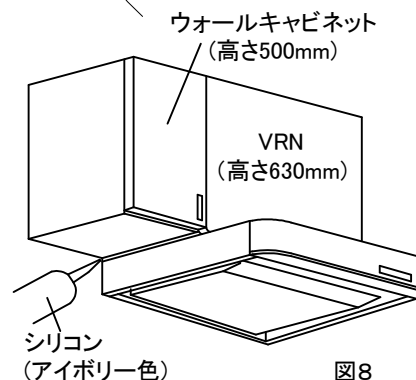
ご注意: 扉上部の扉側丁番のピンがキャビネット側丁番にしっかり掛かっていることを確認してください。
また扉を上を持ち上げて、ガタツキを確認してください。
掛かりが浅い場合もしくはガタツキがある場合は、キャビネット側丁番の角度を修正してください。

●スライド丁番扉のはずしかた

中央の穴を押さえた状態で、着脱レバーを押しあげてください。(図7)



●VRN(高さ630mm)の横にウォールキャビネット(高さ500mm)を設置する場合は、下部に隙間がきますので、必ずシリコン(アイボリー色)でコーキング処理してください。(図8)



●耐震ラッチが取り付けられている場合、下記の手順で耐震ラッチの調整をおこなってください。

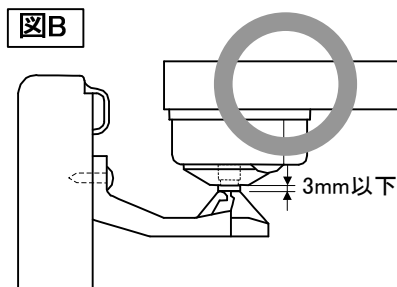
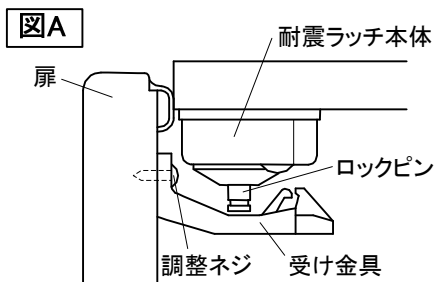


設置終了後、必ず下記の手順に従って作業を行う
地震の時作動しなかったり、通常使用時に支障をきたすことがあります。

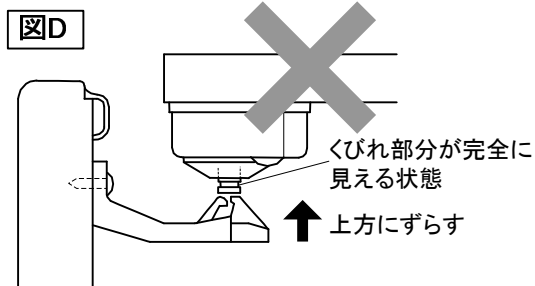
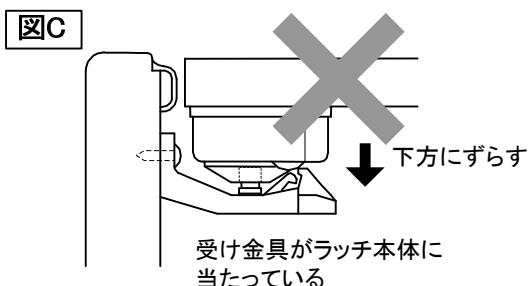
耐震ラッチには、Sタイプ・Hタイプ・Mタイプの3タイプがあります。

＜Sタイプの場合＞

- ①耐震ラッチ本体に貼られているテープをはがしてください。
- ②受け金具が所定の位置にあるか下記要領で確認してください。
[1]扉を少しずつ開きながら受け金具がロックピンを押し上げるところまでゆっくりもってゆきます。(図A、B)
[2]図Bのようにロックピンが押し上げられてラッチ本体内に隠れる状態であればOKです。



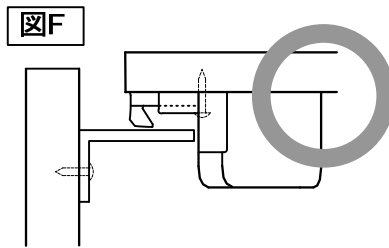
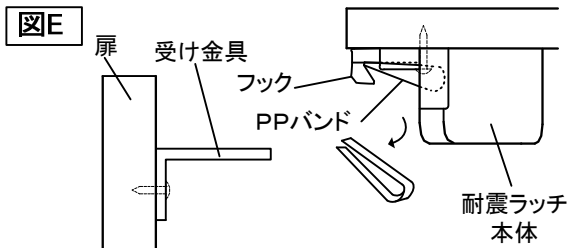
- [3]図Cのように受け金具がラッチ本体に当たってしまう場合は、受け金具を下方にずらす必要があります。
金具の調節ネジをゆるめて図Bの位置になるように調節してください。
- [4]図Dのようにロックピンのくびれ部分が完全に見える場合は、受け金具を上方にずらす必要があります。
金具の調節ネジをゆるめて図Bの位置になるように調節してください。



<Hタイプの場合>

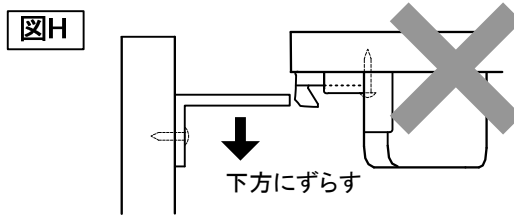
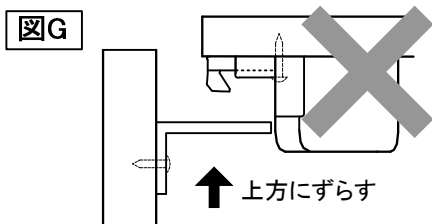
[1]耐震ラッチ本体とフックの間に挟んでいるPPバンドを取りはずしてください。(図E)

[2]扉をゆっくり閉めます。受け金具がフックとラッチ本体の出っ張りとの間に入り込めばOKです。(図F)



[3]図Gのように受け金具がラッチ本体に当たってしまう場合は、受け金具を上方にずらす必要があります。金具の調節ネジをゆるめて図Fの位置になるように調節してください。

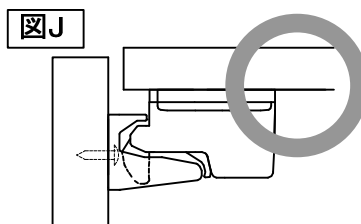
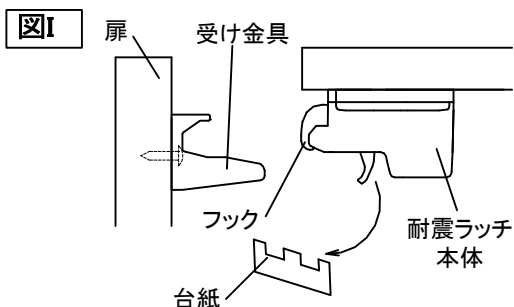
[4]図Hのように受け金具がフックと当たってしまう場合は、受け金具を下方にずらす必要があります。金具の調節ネジをゆるめて図Fの位置になるように調節してください。



<Mタイプの場合>

[1]耐震ラッチ本体とフックの間に挟んでいる台紙を取り外してください。(図I)

[2]扉をゆっくり閉めます。受け金具が耐震ラッチ本体の出っ張りとの間に入り込めばOKです。(図J)



●設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませたくしぼった布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。その後、水を含ませたくしぼった布で洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

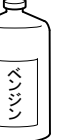
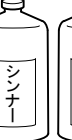


警告



●仕上り工事に使われる溶剤・洗剤・その他の薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって正しく使う
必ず実行 ●使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり使用部材の損傷や劣化の原因になります。

ご注意:溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



6. お願い事項

●商品の養生

すべての作業が完了しましたら、商品を保護養生してください。

●梱包材その他部材の処理

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタANDARD株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

10154670

6A-3

吊戸棚設置説明書